

平成２９年度北海道上士幌高等学校学校評価〔学校関係者評価〕【案】

保護者評価および教職員評価は、４点満点で実施しましたが、このシートでは１００点満点に換算しています。

保護者評価と教職員評価を受けて、自己評価（Ａ：十分 Ｂ：概ね十分 Ｃ：やや不十分 Ｄ：不十分）し、改善の方策を記しています。

自己評価に対する４段階評価を点数化（Ａ→４点 Ｂ→３点・・・Ｄ→１点）し、その平均値を４段階評価に戻し（３.６以上→Ａ ３.０以上３.６未満→Ｂ）しました。

分野・領域	保護者評価 平均値	教職員評価 平均値	自己評価	自己評価に対する評価				次年度に向けた改善の方策	改善方策に対する評価			
	100点換算	100点換算			人数	平均	評価			人数	平均	評価
学習指導	77.8	70.0	B	A	2	3.08	B	・設問３における保護者評価の平均値が0.26アップした。 ・授業におけるペアワーク、グループワークを積極的に活用するなど、生徒の学習意欲や関心を高める工夫を続ける。 ・考査ごとに学習指導の内容と成果に関する評価と改善を繰り返し分ける授業づくりに努める。 ・生徒間の学力差に対応するため、英語と数学における習熟度別授業導入の是非を検討する。 ・学力差に応じた学習課題の作成と活用に向けた校内研修を行う。 ・町との連携も含め、放課後学習のシステムを再構築する。	A	4	3.31	B
				B	10				B	9		
				C	1				C	0		
				D	0				D	0		
生徒指導	81.5	79.5	A	A	9	3.62	A	・設問５における教職員評価の平均値が0.32アップした。 ・日常的に生徒と関わる時間の確保に向けた業務整理を全分掌等で計画的に行う。 ・新入生に部活動体験を奨励し加入率の向上と部の活性化を図る。 ・部活動や委員会活動、生徒会行事等において生徒の自主性と主体性を育てる意図的な指導を展開する。	A	8	3.54	B
				B	3				B	4		
				C	1				C	1		
				D	0				D	0		
進路指導	81.3	72.0	B	A	5	3.31	B	・設問３における教職員評価の平均値が0.21ダウンした。 ・生徒が進路行事相互の関連性を意識しながら３年間を見通して進路学習に取り組めるよう、進路行事の配列を見直し、系統的な進路指導を展開する。 ・卒業までに少なくとも一つの検定合格を全員に達成させ、継続して努力することの価値と努力が実る喜びを体感させる。	A	5	3.38	B
				B	7				B	8		
				C	1				C	0		
				D	0				D	0		
健康安全指導	79.0	84.3	A	A	10	3.77	A	・上記３点と異なり、保護者評価の方が教職員評価より低い。 ・５つの大項目の中で「よく分からない」が一番多かったこともあり、HPや通信で事後の成果等に関する情報提供に努める。	A	10	3.71	A
				B	3				B	4		
				C	0				C	0		
				D	0				D	0		
学校運営		73.3	B	A	4	3.36	B	・昨年度の評価と比して、いずれも微差であった。 ・本校の重点目標を達成すべく、分掌・学年・教科の目標達成に向けた日々の教育活動を展開するという意識を強く持つ。 ・職員全体の学校運営に関する参画意識を高める。	A	6	3.46	B
				B	7				B	7		
				C	0				C	0		
				D	0				D	0		
資質向上		80.3	B	A	4	3.33	B	・設問１は0.32ダウンし、設問２は0.35アップした。 ・授業評価に基づく教科単位の日常的な研修と教科横断的な授業研究により、授業のユニバーサルデザイン化を推進する。	A	3	3.23	B
				B	8				B	10		
				C	0				C	0		
				D	0				D	0		
開かれた学校	82.0	84.3	A	A	10	3.77	A	・設問１における教職員評価の平均値が0.35ダウンした。 ・地元の中学生に本校の長所を理解してもらう新たな取組を行う。 ・HPの構成（画面）および内容の充実を図る。	A	11	3.85	A
				B	3				B	2		
				C	0				C	0		
				D	0				D	0		